

小樽商科大学 卒業論文（昭和56年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和56		「5780」は修士論文	
昭和56	5781	(翻訳)R.ブラックハースト、J.チムリール著 『変動為替レート下の貿易関係』	
昭和56	5782	(抄訳) N.フッド、S.ヤング共著 「多国籍企業の経済学」	
昭和56	5783	現代の経済体制	
昭和56	5784	(翻訳) P.T.バウアー著 『アジアの世界』	
昭和56	5785	発展と低開発の政治経済学	
昭和56	5786	貿易と産業構造の調整	
昭和56	5787	国際収支調整メカニズムと国際通貨制度	
昭和56	5788	(翻訳) P.ストリーテン編 「開発のための貿易戦略」	
昭和56	5789	わが国における信託業の発展	
昭和56	5790	オフショア・バンキング・センター概論	
昭和56	5791	為替予約の理論と実務	
昭和56	5792	荷為替信用状論	
昭和56	5793	荷為替信用状の体系	
昭和56	5794	輸入金融概説	
昭和56	5795	信用状の法的研究と統一規則の拘束力	
昭和56	5796	輸入貨物の貸渡しと引取保証との比較	
昭和56	5797	ロイズ・アンダーライターの歴史とその形成過程	
昭和56	5798	金利平価理論と一般均衡	
昭和56	5799	信用状の経済的意義	
昭和56	5800	輸出取引と信用状	
昭和56	5801	輸入為替業務における信用状の機能	
昭和56	5802	信用状統一規制とコンテナB/L	
昭和56	5803	戦前期における雑穀取引と小樽 -雑穀ブームを中心として-	
昭和56	5804	戦後の国際経済と南北問題	
昭和56	5805	初期イングランド銀行史研究	
昭和56	5806	19世紀末大不況期を通じてのイギリス工業の停滞と原因	
昭和56	5807	アメリカ金融資本成立期におけるモルガン商会	
昭和56	5808	アイルランド問題の史的考察	
昭和56	5809	19世紀ロンドン国際金融市場の形成とマーチャント・バンカー	
昭和56	5810	北海道経済の現状と経済自立	
昭和56	5811	日本の農産物流通とインテグレーション	
昭和56	5812	エネルギー問題の今後 -石油制約への対応-	
昭和56	5813	日本の農業と食料自給	
昭和56	5814	中小企業における知識集約化とその展開	
昭和56	5815	日本の稲作と食糧制度	
昭和56	5816	石油に揺れる日本 -石油依存への推移と展望-	
昭和56	5817	わが国の産業構造変化 -工業化を中心として-	
昭和56	5818	北海道金融機関の特性と動向	
昭和56	5819	北海道経済について - 自立化へ	
昭和56	5820	我が国の物価変動一動向とその要因	
昭和56	5821	日本における金融の二重構造と融資集中	
昭和56	5822	中小企業の構造変動と対策	
昭和56	5823	エネルギー情勢と安定確保への対策	
昭和56	5824	日本漁業の発展と危機	
昭和56	5825	日本の寡占体制について	
昭和56	5826	所得税の成立過程と課税の公平	
昭和56	5827	投資決定と資本構成の理論	
昭和56	5828	財政政策の効果について	
昭和56	5829	消費・貯蓄行動の分析	
昭和56	5830	フィリップス曲線の一考察	
昭和56	5831	インフレーションと日本経済	
昭和56	5832	固定資産税の性格と農業との係り	
昭和56	5833	経済安定化政策における一考察	
昭和56	5834	回帰分析の手法とその応用	
昭和56	5835	時系列処理プログラム概説	

小樽商科大学 卒業論文（昭和56年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和56	5836	設備投資行動の計量分析	
昭和56	5837	消費需要理論の計量経済学的分析	
昭和56	5838	The Identification Problem and Asymptotic Properties	
昭和56	5839	ベイズ論的決定理論とその検討	
昭和56	5840	フィリップス曲線をめぐるループ	
昭和56	5841	対危険行動としての流動性選好について	
昭和56	5842	貨幣 -ロバートソンについて-	
昭和56	5843	供給の経済学	
昭和56	5844	国鉄財政赤字についての考察	
昭和56	5845	金融政策とその有効性	
昭和56	5846	フィリップ曲線の分析	
昭和56	5847	金融政策の効果とそのラグ	
昭和56	5848	貨幣と景気変動	
昭和56	5849	レーガンの経済政策とサプライサイド・エコノミックスの役割	
昭和56	5850	インフレーションと金融政策 -フリードマン=カルドア論争における一考察-	
昭和56	5851	経済安定政策	
昭和56	5852	発展途上国の農業に関する一考察	
昭和56	5853	マクロ合理的予想仮説について	
昭和56	5854	合衆国および日本経済の貨幣的分析	
昭和56	5855	財政政策の有効性	
昭和56	5856	インフレーションと失業	
昭和56	5857	インフレーションと失業 -その原因と治療法-	
昭和56	5858	経済成長理論	
昭和56	5859	福祉政策と経済成長 -イギリスの経験と日本-	
昭和56	5860	企業年金制度	
昭和56	5861	日本のエネルギー問題 -原子力における石油代替性評価-	
昭和56	5862	サウジ・アラビアに於ける工業近代化政策 -その現状と問題点-	
昭和56	5863	公共経済学から見た公害問題 -その市場的解決の困難-	
昭和56	5864	地方財政危機 -国の中央統制と自治体の財政自主権-	
昭和56	5865	世界の人口問題	
昭和56	5866	自動車における経済摩擦問題	
昭和56	5867	技術革新と日本 -メカトロニクスを中心として-	
昭和56	5868	中京大都市圏の中心都市名古屋に対する一考察 -CityからMegalopolisまで-	
昭和56	5869	国鉄赤字財政とその再建方策	
昭和56	5870	スタグフレーションの理論と現状	
昭和56	5871	複占における市場形態	
昭和56	5872	ゲーム理論 -効用の可能性と最適選略	
昭和56	5873	レヴィエールド・プリファレンス	
昭和56	5874	経済循環の基本構造	
昭和56	5875	プロ野球の所得分析	
昭和56	5876	レーガン登場後のアメリカ経済学の流れ 供給の経済学	
昭和56	5877	勤労者世帯消費関数の若干の分析	
昭和56	5878	金融政策と銀行行動	
昭和56	5879	確率的攪乱項の分散の不均一性についての考察	
昭和56	5880	日本経済における生産関数についての実証分析	
昭和56	5881	現代銀行行動	
昭和56	5882	リカード価値尺度説 -不変の価値尺度への探求-	
昭和56	5883	マルサスの賃金論と労働者階級観	
昭和56	5884	重商主義批判としての「国富論」	
昭和56	5885	重商主義と古典派経済学の蓄積論の比較	
昭和56	5886	リカードウ政治経済学における価値論と分配論との関係	
昭和56	5887	穀物法論争と地代論	
昭和56	5888	マルサスとリカードの地代論	
昭和56	5889	秩父困民党の組織過程とその論理	
昭和56	5890	享保改革の米価政策	

小樽商科大学 卒業論文（昭和56年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和56	5891	日本簿記史における「帳合之法」の意義	
昭和56	5892	組合製系論	
昭和56	5893	横井小楠	
昭和56	5894	非常の人-平賀源内	
昭和56	5895	松陰の思想形成について	
昭和56	5896	日本自動車産業の発達と国際的側面	
昭和56	5897	日欧貿易摩擦	
昭和56	5898	IMF体制の変遷について	
昭和56	5899	日本の貿易構造と貿易摩擦	
昭和56	5900	変動相場制における国際収支自動調整効果の検討	
昭和56	5901	日本の貿易自由化と非関税障壁	
昭和56	5902	柑橘類の輸入と貿易自由化	
昭和56	5903	国際収支へのマネタリー・アプローチ	
昭和56	5904	生命保険と公共の利益 -Halsey D. Josephson C.L.U. による生命保険株式会社の考察	
昭和56	5905	投資銀行業の転換	
昭和56	5906	国際通貨 -問題と分析-	
昭和56	5907	多国籍企業の制限的商慣行	
昭和56	5908	多国籍企業 根本の研究	
昭和56	5909	ソビエト経済成長と合衆国の比較論文	
昭和56	5910	経済発展の25年 1950年～1975年	
昭和56	5911	コンピュータと銀行業務	
昭和56	5912	国際金融政策	
昭和56	5913	国際金融について	
昭和56	5914	多国籍企業の将来	
昭和56	5915	確定利付証券の分析	
昭和56	5916	外国為替	
昭和56	5917	多国籍企業	
昭和56	5918	多国籍企業論	
昭和56	5919	日本の国際金融 現状とその将来	
昭和56	5920	石油移動問題と国際経済安定	
昭和56	5921	イン플레이ションの金融効果	
昭和56	5922	国際取引における貨幣 -交換可能通貨制度-	
昭和56	5923	わが国企業金融の特徴とその変貌	
昭和56	5924	出版流通機構論	
昭和56	5925	スタグフレーションの解明 -大内カ「スタグフレーション考」「スタグフレーション再考」より-	
昭和56	5926	資本主義における女性問題 -分業と同時性のあいだで-	
昭和56	5927	証券制度概論	
昭和56	5928	日本の製造企業の研究 -売上高上位101社を対象として- I	
昭和56	5929	日本の製造企業の研究 -売上高上位101社を対象として- II	
昭和56	5930	日産・トヨタの組織の変遷	
昭和56	5931	棚卸資産会計における原価配分と価値評価 -低価主義を例として-	
昭和56	5932	財務報告目的の多様化について -アメリカの諸見解を基にして-	
昭和56	5933	損益計算方法の変遷と環境 -特に企業形態の変化との関連性について-	
昭和56	5934	資本維持会計と会計上の利益	
昭和56	5935	その他の資本剰余金に関する一考察 -代理人理論に立脚して-	
昭和56	5936	行動科学的アプローチによる会計の検討 -S-O-R理論の適用-	
昭和56	5937	価格変動と財務会計 -価格変動期における利益概念に関する一考察-	
昭和56	5938	目標計画法	
昭和56	5939	CVP分析と不確実性	
昭和56	5940	コストベヘイビア分析技法の検討	
昭和56	5941	不確実性下のCVP分析	
昭和56	5942	LP技法導入による多品種生産CVP分析	
昭和56	5943	伝統的なCVP分析から不確実性導入後のCVP分析	
昭和56	5944	CVP分析と線型計画法による感受性分析	
昭和56	5945	損益分岐点分析と線型計画法による感受性分析	

小樽商科大学 卒業論文（昭和56年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和56	5946	CVP分析と線形計画法の感受性分析	
昭和56	5947	CVP分析と資本予算	
昭和56	5948	変動予算に関する一考察	
昭和56	5949	損益分岐点分析の発展と拡大	
昭和56	5950	直接原価計算に関する一考察	
昭和56	5951	ゲーテンベルク費用理論に関する一考察	
昭和56	5952	直接原価計算における外部報告機能	
昭和56	5953	管理会計の体系と特殊原価調査	
昭和56	5954	新時代の予算統制のあり方 -日本企業のための予算統制-	
昭和56	5955	標準原価計算制度の発展に対する科学的管理法の影響	
昭和56	5956	予算管理における諸機能の考察	
昭和56	5957	職業と飲酒・職場不適応とアルコール症	
昭和56	5958	小樽商科大学生の職業興味・知的特性・性格特性の分析的研究	
昭和56	5959	職場不適応の準備因としての社会病理と労働環境	
昭和56	5960	YG性格検査における類型とPFstudyとの相関関係	
昭和56	5961	精神薄弱者の職業適正 -その現状と課題-	
昭和56	5962	マン・マシン・システムにおけるエラー --航空システムで考える-	
昭和56	5963	中年・初老期以降のうつ病とその社会的背景	
昭和56	5964	脳血管障害者のリハビリテーションに関する研究 -心理検査からみた脳血管障害者の知能特性-	
昭和56	5965	広告問題とこれからの広告産業	
昭和56	5966	日本に於ける流通理論の変遷と苦悩する小売・卸売業	
昭和56	5967	広告表現の方向 Culture Approach	
昭和56	5968	広告の経済的効果	
昭和56	5969-I	商品に関する色彩 -商品および包装への色彩によるアプローチ-	執筆者違い 同番号
昭和56	5969-II	現代の消費者に即した商品政策	
昭和56	5970	広告と消費者の関係	
昭和56	5971	総合商社の実態と将来 -総合商社の戦後から現在に至るまでの動向を分析し、今後の経営戦略を探求する-	
昭和56	5972	広告をとりまく環境	
昭和56	5973	日本の独占企業の歴史の実態	
昭和56	5974	地方銀行の経営について	
昭和56	5975	現代日本における広告の在り方と展望について	
昭和56	5976	現代企業行動の理論とその展望	
昭和56	5977	日本の近代的小売業の変遷と展開	
昭和56	5978	商品と貯蓄の特性比較	
昭和56	5979	広告と消費者心理	
昭和56	5980	商品とデザイン	
昭和56	5981	独占競争について -その過程と現実のアメリカ市場-	
昭和56	5982	寡占企業における広告のマーケティング -サントリーとニッカウヰスキーの戦い-	
昭和56	5983	消費者問題と消費者保護行政	
昭和56	5984	交通事故における被害者救済制度への一考察	
昭和56	5985	共同抵当	
昭和56	5986	無償同乗者に対する保護	
昭和56	5987	使用者責任の求償権について	
昭和56	5988	公害と企業責任について -その対外的責任の考察-	
昭和56	5989	代物弁済予約に基づく仮登記担保制度	
昭和56	5990	根抵当権の被担保債権の範囲	
昭和56	5991	学校事故をめぐる法律的諸問題	
昭和56	5992	医療過誤訴訟における過失の認否判断の基準について	
昭和56	5993	銀行預金の差押と相殺	
昭和56	5994	江戸時代の法制	
昭和56	5995	「家」と女性の地位についての考察	
昭和56	5996	共同相続と登記について	
昭和56	5997	集合動産譲渡担保における目的物の特定性判断について	
昭和56	5998	生命保険契約における告知義務	

小樽商科大学 卒業論文（昭和56年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和56	5999	民法九十四条二項における第三者と登記の要否	
昭和56	6000	民法110条の表見代理について	
昭和56	6001	ASEAN: その現状と将来	
昭和56	6002	国際人道法 -その将来についての小論-	
昭和56	6003	ヨーロッパ共同体法における個人の地位	
昭和56	6004	現代における自衛権概念の考察	
昭和56	6005	80年代の日本と太平洋地域諸国 -環太平洋構想について-	
昭和56	6006	日韓関係論 -前史、歴史的経緯、現状そして展望-	
昭和56	6007	国際連合と平和の維持	
昭和56	6008	コメコン -社会主義的経済統合をめざして-	
昭和56	6009	難民の法的地位に関する考察	
昭和56	6010	深海海底の法制度	
昭和56	6011	海外投資の法的保護	
昭和56	6012	欧州共同体の超国家性に関する一考察 -超国家性の定義を中心として-	
昭和56	6013	二国間政府開発援助政策	
昭和56	6014	国家機密と情報公開法	
昭和56	6015	200海里時代の日本漁業	
昭和56	6016	ECにおける通貨統合とその理論	
昭和56	6017	従業員持株制度と自己株式取得	
昭和56	6018	法人格否認の法理の再構成 -要件を中心にして-	
昭和56	6019	役員の退職慰労金	
昭和56	6020	自己株式取得禁止違反の効果	
昭和56	6021	営業譲渡に関する一考察 -営業の概念を中心として-	
昭和56	6022	株主総会決議の不存在	
昭和56	6023	会社の能力と政治献金	
昭和56	6024	取締役の監視義務	
昭和56	6025	取締役の忠実義務の具体的適用における要件と効果	
昭和56	6026	国際システムと数量分析	
昭和56	6027	イラン・イスラム革命の衝撃 -革命とその国際的インパクト-	
昭和56	6028	近代日本における平和主義思想	
昭和56	6029	OPEC - その歴史と戦略	
昭和56	6030	第3世界における地域アクターの政治・経済的考察	
昭和56	6031	南北問題 -その技術的側面-	
昭和56	6032	宣伝・文化交流による相互理解	
昭和56	6033	アメリカ帝国主義における石油戦略	
昭和56	6034	米国の威信の失墜 -世界多極化への変遷-	
昭和56	6035	ASEANを中心とした東南アジアの近代化、その歴史的過程	
昭和56	6036	情報化社会における日本の安全保障	
昭和56	6037	極東における米ソ冷戦	
昭和56	6038	南北問題における生活面からの一考察	
昭和56	6039	労働組合における少数派の権利・義務 -組合意思形成後の活動を巡って-	
昭和56	6040	労働委員会の審査機能と調整機能	
昭和56	6041	臨時工、パート、アルバイト -その組織化へ向けて-	
昭和56	6042	争議行為を理由とする賃金カットの範囲	
昭和56	6043	原状回復とバックペイ	
昭和56	6044	リボン等着用行動	
昭和56	6045	スト不参加労働者の賃金請求権	
昭和56	6046	生存権保障の歴史的展開及びその現代的意義	
昭和56	6047	わいせつ文書規制と表現の自由	
昭和56	6048	国民の知る権利	
昭和56	6049	環境権について	
昭和56	6050	米国における司法消極主義と司法積極主義	
昭和56	6051	日本国憲法改正論の系譜	
昭和56	6052	基本的人権と公共の福祉	
昭和56	6053	自然法思想 -トマス・アクィナスとハンス・ケルゼン-	

小樽商科大学 卒業論文（昭和56年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和56	6054	J.J.ルソーの平和思想	
昭和56	6055	プライバシーの権利	
昭和56	6056	人間の脳における情報処理の一考察	
昭和56	6057	新約聖書における超心理学的研究とその実践法	
昭和56	6058	整数計画法	
昭和56	6059	道路交差点システムのシミュレーション	
昭和56	6060	確立野球戦術 -マイコンを使って- 小樽商大の場合	
昭和56	6061	IDによる科学的マネジメント	
昭和56	6062	待ち行列理論	
昭和56	6063	組織について	
昭和56	6064	PERT.CPM	
昭和56	6065	グラフ理論とネットワークの理論 -最短経路問題について-	
昭和56	6066	取替理論	
昭和56	6067	在庫管理シミュレーション	
昭和56	6068	システム・ダイナミックス	
昭和56	6069	コンピュータによる会計教育の意義と方法	
昭和56	6070	未来会計による経営計画の方法改善 -マネジメントゲームにおけるマトリックス・シミュレーション(1)-	
昭和56	6071	構造モデリングの一手法 -ISM法- の理論と応用	
昭和56	6072	室蘭市の歴史的考察 -室蘭市の再興を期して-	
昭和56	6073	問題解決システムの考察とその応用	
昭和56	6074	ゲーム・プレイイングの戦略 -「オセロ」を例として-	
昭和56	6075	LISPシステム -PC8001でLISPシステムを作成する-	
昭和56	6076	現代経営管理論の一動向 -ノーマンの組織適応論について-	
昭和56	6077	競争戦略論	
昭和56	6078	現代の経営理念 -日本的経営理念とは何か I	
昭和56	6079	現代の経営理念 -日本的経営理念とは何か II	
昭和56	6080	多国籍企業における労働問題	
昭和56	6081	IBM -独禁訴訟と海外子会社戦略	
昭和56	6082	多国籍企業とタックス・ヘイブン	
昭和56	6083	GMの世界戦略	
昭和56	6084	巨大石油帝国 "エクソン"	
昭和56	6085	穀物メジャーと合衆国政府の食糧戦略	
昭和56	6086	多国籍企業と所有政策	
昭和56	6087	リカード機械論への一考察	
昭和56	6088	所得・雇用・価格の一般不均衡分析	